

【全数】
令和6年（4月末現在）

労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況														
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
製造業	食料品																			
	水産食料品		1 (1)			1				1 (1)										
	上記以外の食料品	1	8 (2)	13 (3)	-5	-38.5%			5 (2)	3										
	繊維・衣服その他繊維製品		1			1			1											
	木材・木製品、家具・装備品																			
	パルプ・紙、印刷・製本																			
	化学工業																			
	窯業土石																			
	鉄鋼業、非鉄金属																			
	金属製品		1 (1)	1			1 (1)													
	一般機械器具			1 (1)	-1															
	電気機械器具																			
	輸送用機械製造			2 (1)	-2															
	電気・ガス																			
その他の製造			4 (3)	-4																
小計	1	11 (4)	21 (8)	-10	-47.6%	2 (1)	5 (2)	4 (1)												
鉱業																				
建設業	土木工事		5 (1)	4	1	25.0%	3	1 (1)	1											
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋			2	-2														
		木造家屋		3	4 (1)	-1	-25.0%	1	1	1										
		その他の建築工事	1	1	4 (1)	-3	-75.0%			1										
	その他の建設	2 (1)	3 (1)	2	1	50.0%	1 (1)	1		1										
小計	3 (1)	12 (2)	16 (2)	-4	-25.0%	5 (1)	3 (1)	3	1											
運輸交通業	道路貨物運送業	4	12 (2)	16 (5)	-4	-25.0%	6 (1)	2 (1)	1	3										
	その他の運輸交通業		2 (1)	5 (4)	-3	-60.0%		2 (1)												
貨物取扱			2 (2)	-2																
農林業	農業	1 (1)	2 (2)	2			1 (1)		1 (1)											
	林業		3	4	-1	-25.0%	2	1												
畜産水産業	畜産業	4	11 (1)	5 (2)	6	120.0%	5	2 (1)	2	2										
	水産業																			
商業	小売業	8 (3)	19 (12)	23 (13)	-4	-17.4%	5 (5)	5 (3)	8 (4)	1										
	その他の商業	2	4 (1)	7 (1)	-3	-42.9%	1	1 (1)	1	1										
通信業			4 (3)	-4																
保健衛生業	社会福祉施設	3 (2)	33 (7)	26 (6)	7	26.9%	10 (3)	19 (1)	4 (3)											
	その他の保健衛生業	5 (2)	20 (7)	33 (9)	-13	-39.4%	11 (5)	5	3 (2)	1										
接客娯楽業	旅館業			4	-4															
	飲食店	3	5	5 (2)			1		2	2										
	その他の接客娯楽業		1 (1)	1 (1)						1 (1)										
その他	ビルメンテナンス業	2 (1)	7 (5)	9 (6)	-2	-22.2%	5 (4)		1	1 (1)										
	その他(上記以外の全ての業種)	1 (1)	8 (4)	13 (6)	-5	-38.5%	4 (2)	2	2 (2)											
合計	37 (11)	150 (49)	196 (70)	-46	-23.5%	58 (23)	47 (11)	32 (13)	13 (2)											

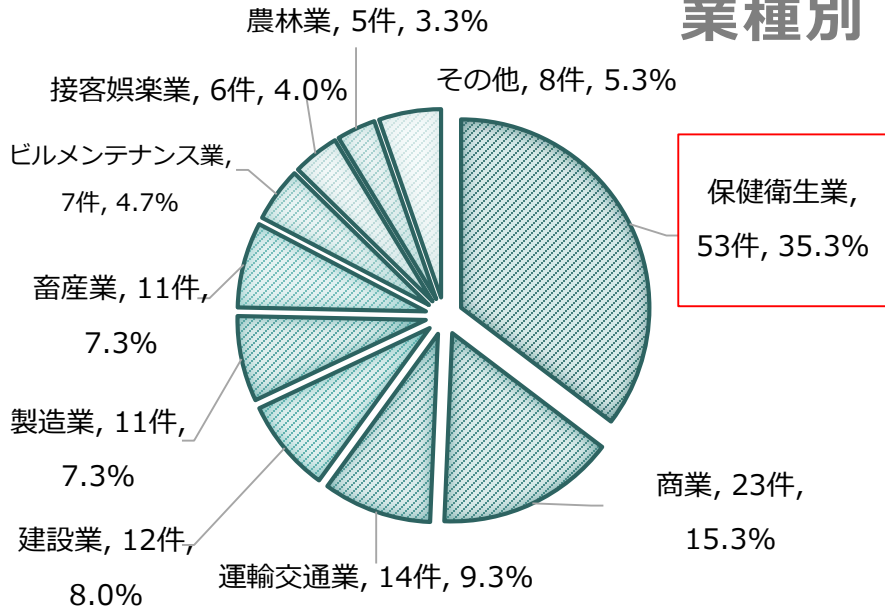
(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。
「今月分」は、当月報告受付件数(内数)である。
新型コロナウイルス感染症に係る労働災害を含む。

○内は死亡者数(内数)である。
()内は転倒災害被災者数(内数)である。

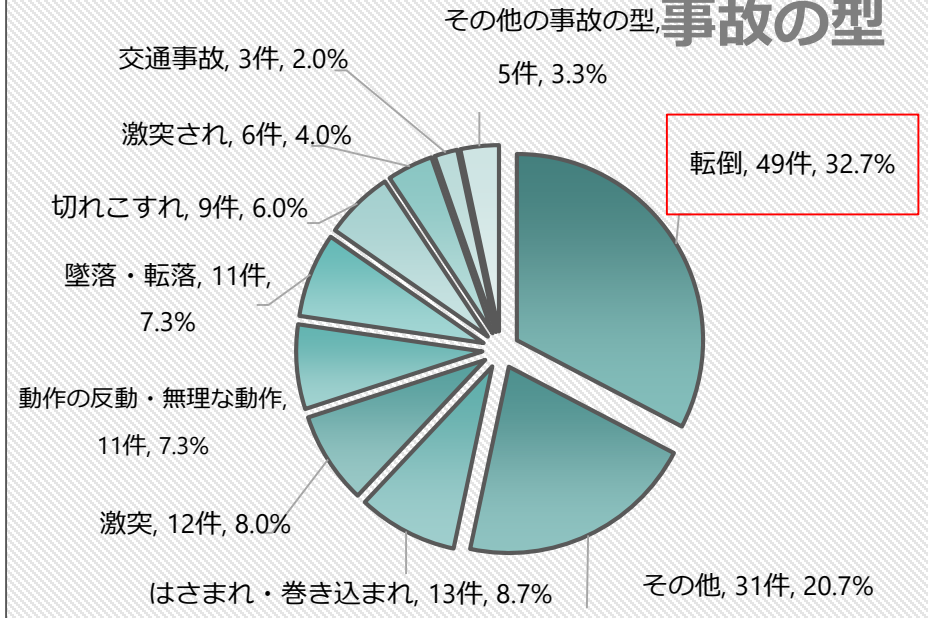
※ 冬季特有災害 150件中26件(前年比-25件)
【内訳 転倒：21件、墜落転落2件、激突2件、交通事故1件】

全産業労働災害発生状況グラフ（全数）

業種別



事故の型



	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	巻き込まれ等	切れこすれ	踏み抜き	高温、低温の物との接触	爆発	有害物質との接触	交通事故	無理な動作等	その他	合計
動力機械		1				1	4	5								11
物上げ装置運搬機械	4		1				3						3			11
その他の装置等	3	9	5		1	1	2	4								25
仮設物、建築物等	3	39	6			1	1									50
物質材料							1			2		1				4
荷				1			1									2
環境等	1					3	1									5
その他														11	31	42
合計	11	49	12	1	1	6	13	9		2	1	3	11	31		150

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
3年未満	1	6	6	7	5	8	1	34
3～9年		9	8	7	8	8	4	44
10～19年			1	8	15	17	2	43
20～29年				2	6	5	2	15
30年以上					5	8	1	14
合計	1	15	15	24	39	46	10	150

【新型コロナウイルス感染症を除く】
令和6年（4月末現在）

労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況													
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
製造業	食料品		1 (1)		1				1 (1)										
	水産食料品		1 (1)		1				1 (1)										
	上記以外の食料品	1	8 (2)	13 (3)	-5	-38.5%		5 (2)	3										
	繊維・衣服その他繊維製品		1		1			1											
	木材・木製品、家具・装備品																		
	パルプ・紙、印刷・製本																		
	化学工業																		
	窯業土石																		
	鉄鋼業、非鉄金属																		
	金属製品		1 (1)	1				1 (1)											
	一般機械器具			1 (1)		-1													
	電気機械器具																		
	輸送用機械製造			2 (1)		-2													
	電気・ガス																		
その他の製造			4 (3)		-4														
小計	1	11 (4)	21 (8)	-10	-47.6%	2 (1)	5 (2)	4 (1)											
鉱業																			
建設業	土木工事		5 (1)	4	1	25.0%	3	1 (1)	1										
	建築工事																		
	鉄骨・鉄筋家屋			2		-2													
	木造家屋		3	4 (1)	-1	-25.0%	1	1	1										
	その他の建築工事	1	1	4 (1)	-3	-75.0%			1										
その他の建設	2 (1)	3 (1)	2	1	50.0%	1 (1)	1		1										
小計	3 (1)	12 (2)	16 (2)	-4	-25.0%	5 (1)	3 (1)	3	1										
運輸交通業																			
道路貨物運送業	4	12 (2)	16 (5)	-4	-25.0%	6 (1)	2 (1)	1	3										
その他の運輸交通業		2 (1)	5 (4)	-3	-60.0%		2 (1)												
貨物取扱			2 (2)		-2														
農林業	農業	1 (1)	2 (2)	2			1 (1)		1 (1)										
	林業		3	4	-1	-25.0%	2	1											
畜産水産業	畜産業	4	11 (1)	5 (2)	6	120.0%	5	2 (1)	2	2									
	水産業																		
商業	小売業	8 (3)	19 (12)	23 (13)	-4	-17.4%	5 (5)	5 (3)	8 (4)	1									
	その他の商業	2	4 (1)	7 (1)	-3	-42.9%	1	1 (1)	1	1									
通信業			4 (3)		-4														
保健衛生業	社会福祉施設	3 (2)	11 (7)	12 (6)	-1	-8.3%	5 (3)	3 (1)	3 (3)										
	その他の保健衛生業	5 (2)	11 (7)	11 (9)			6 (5)	1	3 (2)	1									
接客娯楽業	旅館業			4		-4													
	飲食店	3	5	5 (2)			1		2	2									
	その他の接客娯楽業		1 (1)	1 (1)						1 (1)									
その他	ビルメンテナンス業	2 (1)	7 (5)	8 (6)	-1	-12.5%	5 (4)		1	1 (1)									
	その他(上記以外の全ての業種)	1 (1)	8 (4)	13 (6)	-5	-38.5%	4 (2)	2	2 (2)										
合計	37 (11)	119 (49)	159 (70)	-40	-25.2%	48 (23)	27 (11)	31 (13)	13 (2)										

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。

「今月分」は、当月報告受付件数（内数）である。

この統計は、新型コロナウイルス感染症に係る労働災害を除いたものである。

○内は死亡者数（内数）である。

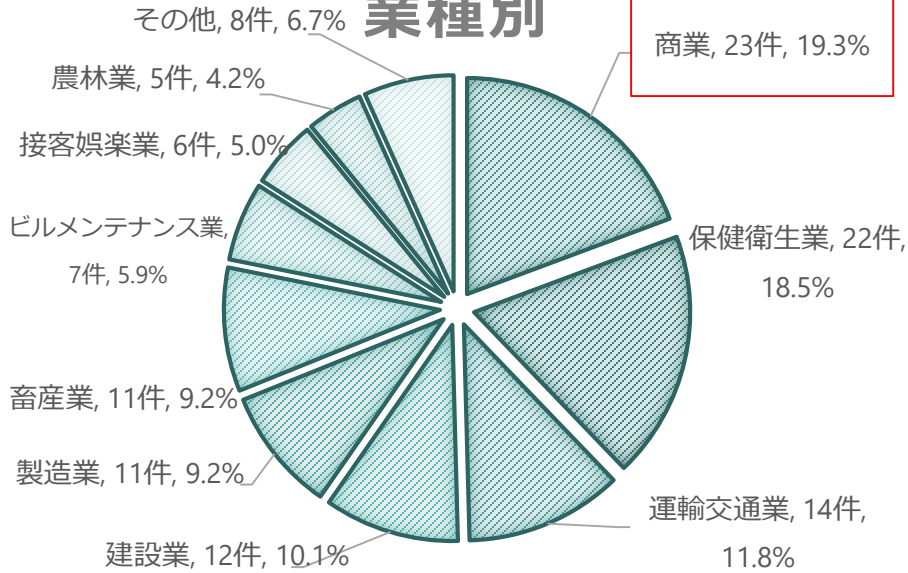
()内は転倒災害被災者数（内数）である。

※ 冬季特有災害 119件中26件（前年比-25件）

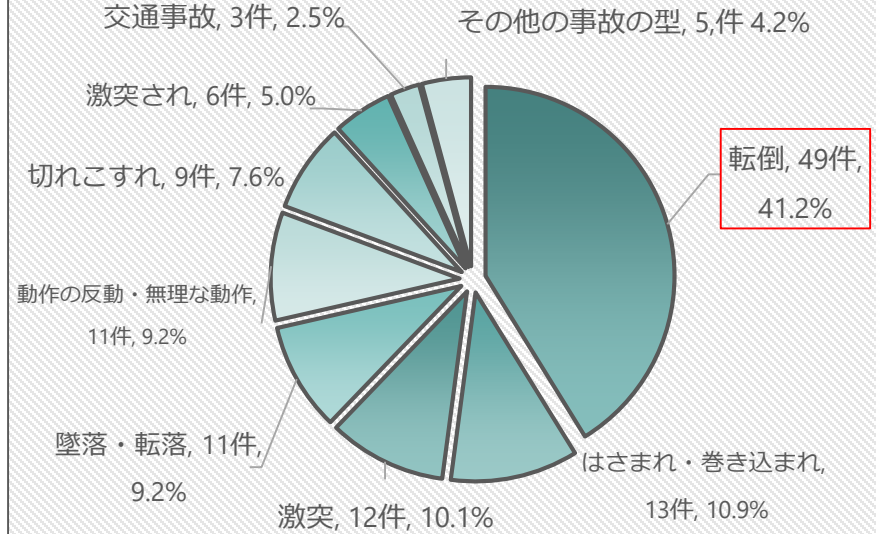
【内訳 転倒：21件、墜落転落2件、激突2件、交通事故1件】

全産業労働災害発生状況グラフ（コロナ除く）

業種別



事故の型別



	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	巻き込まれ等	切れこすれ	踏み抜き	高温、低温の物との接触	爆発	有害物質との接触	交通事故	無理な動作等	その他	合計
動力機械		1				1	4	5								11
物上げ装置 運搬機械	4		1				3						3			11
その他の装置等	3	9	5		1	1	2	4								25
仮設物、建築物等	3	39	6			1	1									50
物質材料							1			2	1					4
荷				1			1									2
環境等	1					3	1									5
その他														11		11
合計	11	49	12	1	1	6	13	9		2	1	3	11			119

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
3年未満		4	6	7	4	8	1	30
3～9年		2	4	6	6	8	4	30
10～19年			1	7	10	16	2	36
20～29年				1	5	3	2	11
30年以上					4	7	1	12
合計		6	11	21	29	42	10	119

【転倒】
令和6年（4月末現在）

労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

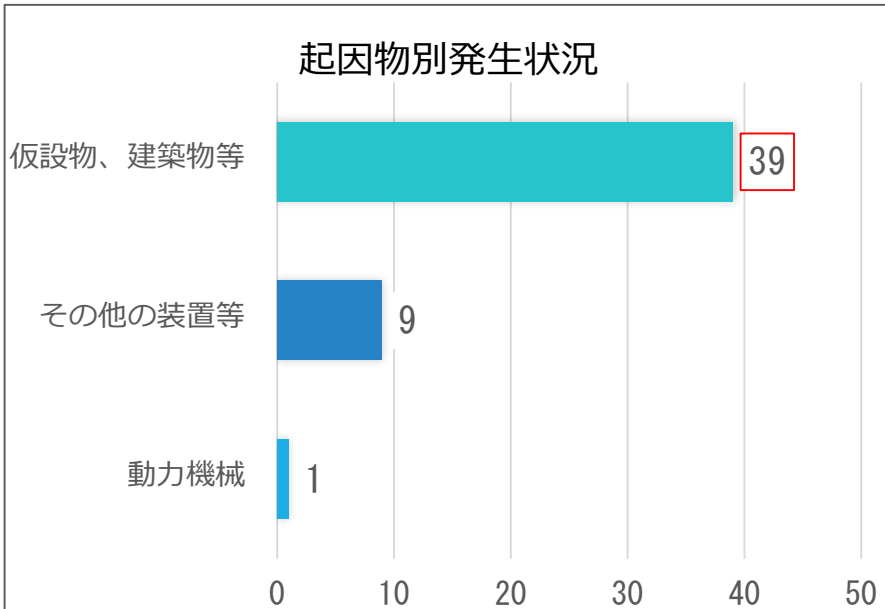
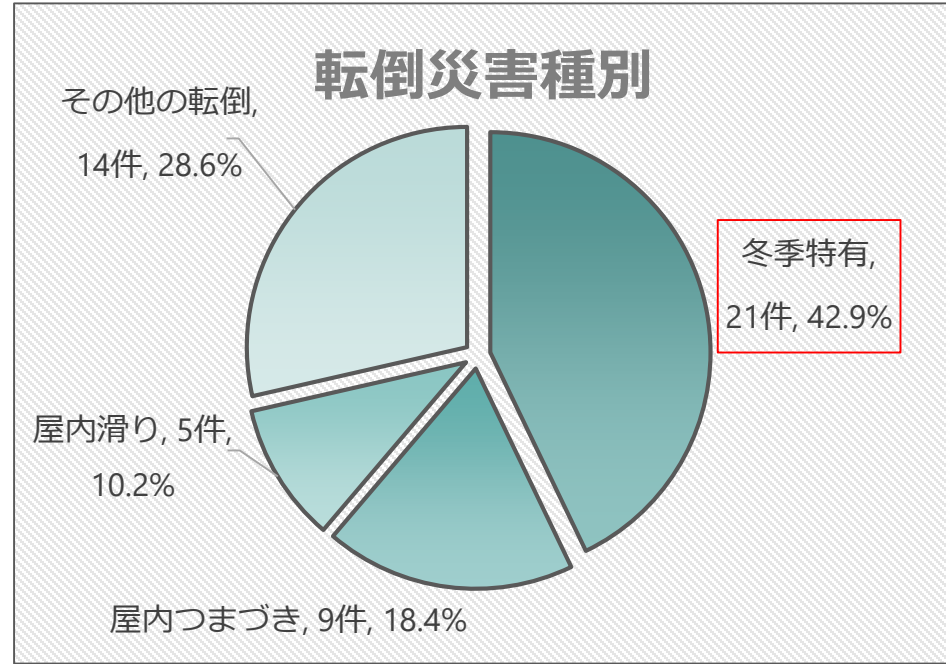
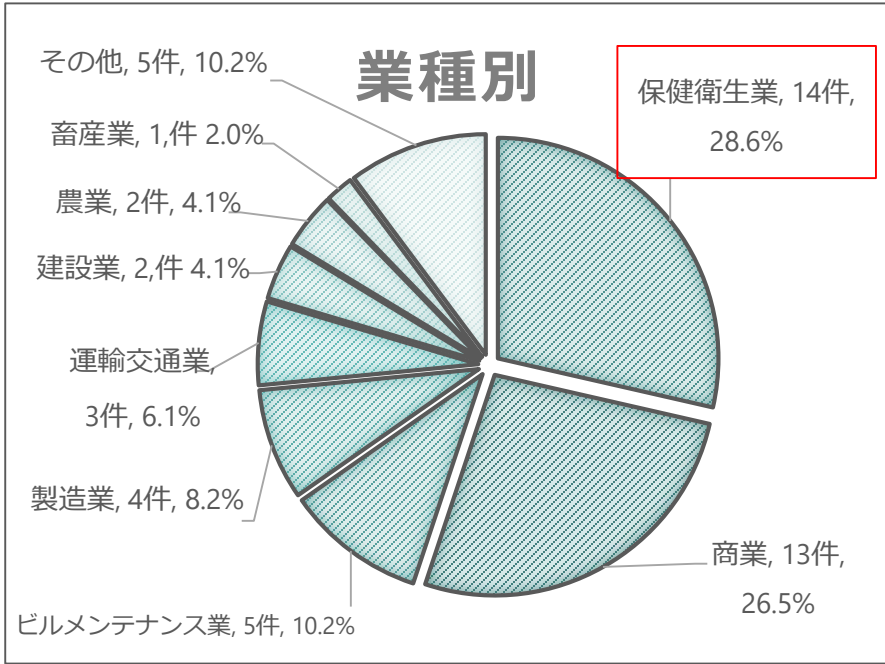
業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況															
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
製造業	食料品																				
	水産食料品		1 (1)			1				1 (1)											
	上記以外の食料品		2 (2)	3 (3)	-1	-33.3%			2 (2)												
	繊維・衣服その他繊維製品																				
	木材・木製品、家具・装備品																				
	パルプ・紙、印刷・製本																				
	化学工業																				
	窯業土石																				
	鉄鋼業、非鉄金属																				
	金属製品		1 (1)			1			1 (1)												
	一般機械器具			1 (1)		-1															
	電気機械器具																				
	輸送用機械製造			1 (1)		-1															
	電気・ガス																				
その他の製造			3 (3)		-3																
小計		4 (4)	8 (8)	-4	-50.0%	1 (1)	2 (2)	1 (1)													
鉱業																					
建設業	土木工事		1 (1)			1		1 (1)													
	建築工事																				
	鉄骨・鉄筋家屋																				
	木造家屋			1 (1)		-1															
その他の建築工事			1 (1)		-1																
その他の建設	1 (1)	1 (1)			1		1 (1)														
小計	1 (1)	2 (2)	2 (2)					1 (1)	1 (1)												
運輸交通業	道路貨物運送業		2 (2)	5 (5)	-3	-60.0%	1 (1)	1 (1)													
	その他の運輸交通業		1 (1)	4 (4)	-3	-75.0%		1 (1)													
貨物取扱			2 (2)		-2																
農林業	農業	1 (1)	2 (2)			2		1 (1)		1 (1)											
	林業																				
畜産水産業	畜産業		1 (1)	2 (2)	-1	-50.0%		1 (1)													
	水産業																				
商業	小売業	3 (3)	12 (12)	13 (13)	-1	-7.7%	5 (5)	3 (3)	4 (4)												
	その他の商業		1 (1)	1 (1)				1 (1)													
通信業			3 (3)		-3																
保健衛生業	社会福祉施設	2 (2)	7 (7)	6 (6)	1	16.7%	3 (3)	1 (1)	3 (3)												
	その他の保健衛生業	2 (2)	7 (7)	9 (9)	-2	-22.2%	5 (5)		2 (2)												
接客娯楽業	旅館業																				
	飲食店			2 (2)		-2															
その他	その他の接客娯楽業		1 (1)	1 (1)						1 (1)											
	ビルメンテナンス業	1 (1)	5 (5)	6 (6)	-1	-16.7%	4 (4)			1 (1)											
その他(上記以外の全ての業種)	1 (1)	4 (4)	6 (6)	-2	-33.3%	2 (2)		2 (2)													
合計	11 (11)	49 (49)	70 (70)	-21	-30.0%	23 (23)	11 (11)	13 (13)	2 (2)												

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。
「今月分」は、当月報告受付件数(内数)である。

○内は死亡者数(内数)である。
()内は転倒災害被災者数(内数)である。

転倒災害を防止しましょう！ 全産業119件中49件 41.2%
※ 冬季特有転倒災害 26件中 21件(前年比-23件)

全産業労働災害発生状況グラフ（転倒）



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
3年未満				2	2	3	1	8
3～9年			2	2	1	5	2	12
10～19年			1	1	4	12		18
20～29年					2	2	1	5
30年以上					2	3		6
合計			3	5	11	26	4	49